

平成27年度 第1回

帯広市廃棄物減量等推進審議会 議事録

(概要)

日時 平成27年7月28日(火)

午後4時～

会場 市役所10階第6会議室

出席委員(15名)

五十嵐 委員
石塚 委員
一ノ渡 委員
岡田 委員
梶 委員
木川 委員
桑波田 委員
齊藤 委員
佐藤 委員
澤野 委員
仲村 委員
堀川 委員
山崎 委員
柚原 委員
渡邊 委員

(19名中15名出席)

帯広市(9名)

安達 市民環境部長
梅村 清掃担当調整監
一森 指導担当課長
岸浪 清掃事業課長補佐
高坂 清掃事業課長補佐
広地 業務担当課長補佐
西本 ごみ減量係主査
生駒 ごみ減量係主任
田之畑 ごみ減量係主任補

・審議委員の紹介、事務局員の紹介の後、互選により渡邊委員が会長に、齊藤委員が副会長に選任される。
そのあと議事に入る。

議事（渡邊会長により進行）

1. 帯広市一般廃棄物処理基本計画について
（事務局：梅村清掃担当調整監）説明

会 長) 事務局から一般廃棄物処理基本計画についてのご説明をいただきました。この中で、特に大事なものは、再任の委員の皆さんは何度も聞いておられるかと思いますが、資料の中ほどに記載されています「計画の目標」、「ごみの発生抑制」、「ごみを減らす」、それから「資源化の促進」、「リサイクル率を上げていく」、「最終処分量を減らして環境負荷を低減する」、そのためにどうするかについて議論するというのがこの審議会の目的ということになります。ですので、特に今回新しく委員をお願いした皆さまには、本冊子に今説明いただいたことが詳しく書いていますので、今日お帰りになってからでも色々読んでいただけたらと思います。今説明いただいた部分について、何か皆さんの方からご質問ご意見等ございましたらご発言いただきたいと思います。

委 員) 6月20日に、「剪定枝」無料受入が、初の試みで行われたのですが、これはこれからも継続されるということでしょうか。この重点施策の中に、木質系廃棄物のリサイクル推進と掲載されているのですが、これは非常に助かります。また、空き家の庭の木が伸び放題で、電線や隣の敷地内にかかるようなところがあり周りの人たちが、切っても始末が困る。木の葉も、近所の方々が自分の家の有料ごみ袋に詰めて出すということが納得できないと言われていたので、どう解決したらいいのかがわかりません。そして、この剪定枝は不法投棄というのでしょうか、冷蔵庫や家電だけではなくて、河川敷や人のいないところに廃棄されているのをよく見かけます。このように剪定された枝等を受け入れると環境にもいいですし、すごく助かると周りから言われました。空き家の大きく育った枝をどう始末したらいいのかというのがずっと町内会でも困っている問題です。その空き家の持ち主は、札幌近辺に住んでいるということで、そちらに連絡をとって「何とかして下さい」と言っても、「好きにしていから」と言われても、その始末に困っている。よい解決策がなく、

いつも堂々巡りで困っています。そういうところの対策ってどのようにしたらいいのか知恵をいただきたいなと思います。

会 長) 一つは剪定枝の回収が始まったのは、今後も継続されるのかっていうことと、もう一つは空き家の周囲を片づけたときのそのごみの扱いについてどうするかということですね。いかがですか。まずはこの剪定枝について。

事務局) 剪定枝の関係ですが、これは、みどりの課の方で実施しております。今回、試験的に実施をしたということで、今回の結果を受け、今後どうするかということで検討していくと伺っております。二つ目の家庭から出る枝とか落ち葉の関係ですが、庁内各課で連携して会議を持ち検討しているところですが、今のところ経費ですとか、受け皿の問題ですとか、色々課題があり、現状では各家庭で燃やすごみとして出しているところなんです。今後、以前からも検討している課題なので、また引き続き、検討させていただきたいと思っております。

事務局) 空き家の関係につきましては、持ち主がいるということで、当然それは持ち主の責任で、例えば「木が伸びている」とか、「ごみがたまっている」というのは、処理しなければならないのですが、地域でそういった家がある、誰が持ち主なのだろうかという情報を市役所の方にも寄せていただければ、我々の方から持ち主に地域で問題になっていることをお伝えすることは可能かと思っております。ただ、そこで出たごみについてはやはり無料という扱いにはできないかなとは思っております。

会 長) この剪定枝の問題とかは前期の審議会でも何度か出てきた問題です。私も町内会の役員をやっていますので、空き家の問題とかは他人ごとではないですね。ですから帯広市全体に関わる大事な問題だと思いますので、今後のこの審議会の中でもまた機会がありましたら議論させていただきたいなと思います。

その他、今の件についてご質問、ご意見等ございますか。学生の皆さんわからなかったところとかないですか。副会長、よろしいですか。先ほども言いましたけれどこの部分は今後の審議していく上で一番大事なところですので是非今日の資料、お帰りになられたら目を通していただきたいと思っております。続きまして、次に(2)の帯広市の清掃事業概要について、事務局からご説明をいただきたいと

思います。

2. 平成27年度清掃事業概要について

(事務局：岸浪課長補佐) 説明

会 長) 平成27年度清掃事業概要について説明をいただきました。今説明いただいたようなことが帯広市のごみの問題を考える上での基礎知識っていうことになると思います。この資料についても細かいところ改めて見ていただけたらと思います。今説明いただいた内容について何かご質問、ご意見等ありましたらどうぞ。26年度ごみ全体で少し減ったっていうのは良いニュースかなと思います。また、今後この具体的な内容に関する事で議論をいただくようなことが出てくるかと思しますので、資料は見ておいていただけるとありがたいです。さて、事務局からの説明は一通りいただいたのですが、今度はその他ということで、今日この機会に、皆さまの方から今後の清掃行政、ごみ減量、リサイクル等の関係で何かご意見とかご提案があればいただきたいと思います。今日説明された内容と直接結びつかないことでも結構です。日頃からごみの減量、リサイクル、清掃行政について感じておられることなどあればご発言いただけたらと思います。

委 員) 感想を述べたいと思います。今日お話しあった一番の課題はごみを減らすっていうことですので、今回この清掃事業概要では15ページに26年度の総排出量が減りましたと今報告があり、良かったなと思いました。しかし、25年から26年にかけて大きく減りましたという要因を考えますと、今、私は商店街のことをやっておりますけれども、商店街の方の商売の関係でも同じ動きなのですね。つまりは、昨年の4月から消費税が上がりました。その前にたくさん消費者の方は色々なものをお買いになって25年度の売り上げはすごく伸びただけけれども、その反動で、26年からは売り上げが減っているという状況がずっと続いていて、商店街も、ずっと厳しい厳しいって言って言ってきました。ただ、今年に入って少しずつ良くなってきたという傾向があるようで、この25年に多くごみが出た原因は、消費税前の駆け込みで色々なものを買ったということで排出があり、26年はたまたまその影響で排出が減ったという分析もできるかと思えます。直近のごみの排出量を見ますと、昨年より増えていると広報にも出ておりますので、気を抜くことなく、ごみ減量の意識を皆さんにお伝えすることが大事だと思いますので、ぜひ、環境学

習や出前講座、この間、日曜日にも「ホコ天」で「はたらくくるまの展覧」等でごみの減量等をPRしていたと思いますが、色々機会を作って頂いて、ごみ減量の取り組みを市民の皆さんにお知らせしていくことが大事だと思いますので、ぜひそういった努力をお願いしたいと思います。よろしく願いいたします。

会長) ごみの問題、我々はごみ減量審議会でごみを減らすのが我々の目標というテーマになりますけれども、ごみが出るっていうのはそれだけものが売れているとごみが出るわけですから、ごみが減るといいうことは、景気が悪くなって物が売れなくなるとごみが減っている一面もあるわけですね。ですからなかなか減ったからと言って諸手を挙げて嬉しいっていうわけにもいかないところがあると思います。その辺のところも、特に学生の皆さんのご理解をさせていただいて、今後色々な意見を聞かせていただけたらと思います。その他いかがですか、副会長何かありますか。

副会長) 一番大事なものはごみを減らすことばかりではなく、環境整備です。これを考えて減量に取り組む、これが一番大事だと思います。今一番地域で悩んでいるのはカラス対策です。カラスが散らかすものに追われて町内では大変です。これは減量ではないけれども併せてこういうものもきちんとやらないといけないのかなという感じです。やはり、今一番町内地域で困っているのはカラスではないでしょうか。これと減量と合わせて運動していくということも大事かと思えます。高校生の皆さん、カラス対策についていい意見があればぜひ出していただきたい、こう思っています。年寄の頭ではなんぼやっても追い払うのがやっとなのでありますから、いい方法を提示してください。お願いします。

会長) このカラス対策のことも審議会では時々、特に帯広市の方で何か新しい対策が出てきますとその見本を見せていただいたり、そういうチャンスもあるかと思えます。色々ここで考えていく上では知識も必要ですし色々見せてもらうことも必要で、前期は1回くりりんセンターに行ったり、うめ〜るセンターも行きました。今期もできるだけみなさんの都合が合う時に帯広市内のごみ処理関係の施設を見学する機会を設けたいって思っています。他に、もう最初の方からずっと全体を通してでも結構ですので、何がご質問とかご意見その他ございましたらご発言ください。

委員) 先程のカラスの問題についてですが、私の町内は、ごみの管理をすべて町内の人に任せっきりで、かごの網もかごも何も用意されず、最初のごみをそのまま置いていて、カラスに好き放題つつかれていたんです。その後、商店街の人がかごを貸してくれて、今はそのかごに入れて置いているのですが、そういうことは全部住民に任せっきりで、市は何も助けてくれないのかなっていうのを親が話していたので、そういうことも今後話できたらいいなと思いました。

会長) 市が何もしないでいるという訳ではないと思うのですが、その費用の負担や何かのことでは色々こう難しいこともあるかと思えます。色々ありますけど。多分カラスの問題もこれから取り上げると思えますのでその時にまた色々事情を聞いて話し合っていきたいと思えます。なんか今のポイントで事務局の方から何かあれば。

事務局) 例え町内会でカラスよけのネットを買うだとか、枠、かご等を作るだとか、そういったものについて、市からお金を出しますので買ってくださいということは、現状ではありません。というのは、これは、ごみを出していただく市民、それからごみを集める市役所、市役所が委託した業者さん、そんな中で先ほども計画の中でお話ししましたが、市民と市と協働で、生活環境の向上をしていきたいと思いますということで、以前からごみステーションの管理は地域・町内会にお願いをしながらこれまでは進めてきておりますし、これからもそういう方向でお願いしていきたいと思っております。

会長) このごみの問題と町内会の関係も、私ら町内会の活動もしてしまして色々思うところはあるのですね。そういうことについてもまた機会を見つけて議論していけたらと思えます。その他いかがですか。よろしいでしょうか。そうしましたら今日はお忙しいところお集まりいただきまして長い時間ありがとうございました。これで審議会を終了したいと思えます。本日は誠にありがとうございました。お疲れ様でした。